



三浦市議会だより

第 102 号
 平成23年(2011年)5月1日
 編集：議会だより編集委員会
 発行：三浦市議会
 〒238-0298
 神奈川県三浦市城山町1番1号
 ☎ 046(882)1111内線462・463

第1回定例会

平成二十三年年度予算成立

三浦市暴力団排除条例を制定



市内8小学校に335人が入学しました（初声小学校1年1組のおともだち）

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
2月25日	金	本会議	会期の決定、施政方針
28日	月	本会議	一般質問
3月1日	火	本会議	一般質問
2日	水	本会議	一般質問、議案の審議（説明・委員会付託）、予算審査特別委員会の設置並びに委員及び正副委員長の選任
3日	木	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
4日	金	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
8日	火	予算審査特別委員会	議案の審査
9日	水		
10日	木		
11日	金		
14日	月	財政健全化対策特別委員会	三浦市財政の健全化に関する審査
15日	火	財政健全化対策特別委員会	三浦市財政の健全化に関する審査
18日	金	本会議	議案の審議（総務経済・都市厚生・予算審査の各委員長報告・討論・採決）、議員提出議案（説明・採決）、三浦市財政の健全化に関する審査について、人事案件（人権擁護委員）、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十三年第一回定例会は、二月二十五日から三月十八日までの二十二日間を会期として開かれました。

今定例会では、平成二十三年度各会計予算や第三セクター等改革推進債償還事業特別会計の設置など、二十五議案が提出され、それぞれ審議・可決しました。

最終日には、議員提出の委員会条例改正案を可決しました。

〈議会だより第102号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
予算審査特別委員会	1～2面
常任委員会の審査	2面
財政健全化対策特別委員会	2面
一般質問	3～8面
議案等の審議結果	8面
本会議における討論	8面
委員会条例の改正	8面
人権擁護委員の推薦	8面
臨時会、定例会の予定	8面

予算審査特別委員会

議案の審査概要

平成二十三年度の一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還）及び企業会計（病院、水道）の予算議案は、七人の委員で構成する予算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

予算審査特別委員会

- 委員長 土田成明
 副委員長 宮崎敏一
 委員 出口眞琴
 石原正宣
 草間道治
 佐瀬喜代志
 小林直樹

中で述べられなかったのは、なぜか。

答弁 他市で行われているような人口増加策も検討したが、財源が厳しい中で、直接的に財源を手当てした人口誘導策が組めなかった。

小児医療費の助成
質問 厳しい財政状況の中で対象年齢の引き上げについて、市長の考えは。

答弁 平成二十四年までに対象を小学校三年生まで引き上げることが、約束であるので実施する。

知的障害者通所施設
質問 四月に予定される知的障害者通所施設の開所について、市長の考えは。

答弁 近隣住民の思いも受けとめ、地域に溶け込んだ施設となるように進めたい。

（その他の質疑項目）
 ・子ども手当の財源措置について
 ・リフォーム助成の実施について、ほか

総括質疑

市政全般にわたり市長に質疑

二十三年度予算の編成
質問 市税収入の減少や第三セクター等改革推進債の償還などによる厳しい財政状況の中、どのような予算編成を行ったのか。

答弁 土地開発公社の解散に伴う債務の増加により、市民に直接的な負担が生じないように配慮した。

人口増加策
質問 人口増加のための政策が、施政方針の

の政策が、施政方針の

一般会計

歳入

- ・南下浦市民センターの駐車場用地を貸し付けることによる収入見込みと駐車料金について
- ・二町谷の汚水処理施設使用料の収入見込みについて
- ・市税滞納延滞金について

歳出

- 総務費
 - ・三浦市民まつりの事業費について
 - ・太陽光発電機設置の補助について
 - ・出張所における土曜開庁について
- 民生費
 - ・学童保育クラブの運営補助について
 - ・敬老事業に係る予算計上について
 - ・障害者地域作業所の運営に対する市の支援について
 - 衛生費
 - ・不法投棄の現状と対策について
 - ・ごみの焼却と焼却灰の処理について
 - ・ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンの接種事業について
 - 農林水産業費
 - ・カラスによる農作物被害の防止について
 - ・市営漁港でのしゅんせつの実施予定について

意見 漁村センターの譲渡等の検討は、市の財政負担を減らすための施策であり、市は時期を決めて判断をするべきである。

●商工費
・臨時特例交付金による雇用の確保について

・三浦国際市民マラソンの三十回大会に向けた検討について

意見 二町谷埋立地の貸し付けや売却は、本市の生命線ともなる事業であり、もう少し企業誘致のための予算を措置すべきではないか。

●土木費
・潮風スポーツ公園の整備と野球場での硬式球使用について
・西海岸線道路整備の早期実現に向けた県への働きかけについて

意見 景観計画は本市にとって重要な施策であり、一年でも早い策定を目指すよう努力していただきたい。

●消防費
・消防水利施設の整備予定について
・防災行政無線の活用と、市民への情報提供について

●教育費
・給食費の滞納状況と徴収方法について
・就学援助制度の現状と制度拡充について

意見 教育費は、ハ

下面に係る予算を主に計上しているが、児童生徒の教育の大きな要素であるソフト面に対する予算をより充実していただきたい。

特別会計

国民健康保険事業

・短期証及び資格証の

交付について
・特定健診の受診率向上策について
・課税限度額の引き上げと、それに伴う市民負担について

後期高齢者医療事業

・短期証及び資格証の

交付について

介護保険事業

・次期高齢者保健福祉

常任委員会

議案・陳情の審査

総務経済

三浦市暴力団排除条例

(質疑の主な項目)
・県内他市での同条例の制定状況について
・暴力団員の判断基準について

三浦市第三セクター等改革推進債償還事業

(委員からの意見)
・基金設置により一般会計と分けることは、市民周知の上で望ましいことである。

三浦市職員定数条例

(質疑の主な項目)
・三セク債は、二町谷埋立事業の失敗による借金であり、本議案には賛成しかねる。

三浦市職員給与

(質疑の主な項目)
・三浦市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

三浦市手数料条例

(質疑の主な項目)
・三浦市手数料条例の改正する条例

都市厚生

交付について
・計画・介護保険事業の策定準備について
・介護従事者の処遇改善について
・今後予定される制度改正に関する情報収集について

市場事業

・入港船と水揚げ量の推移について

一部を改正する条例

(質疑は特にありません)
◎平成二十二年度三浦市一般会計補正予算(第七号)

三浦市都市公園条例

(質疑の主な項目)
・改正する使用料の積算根拠について

三浦市都市公園条例

(質疑の主な項目)
・市を紹介するテレビ番組等の撮影に対する料金徴収について

平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・広域化等支援基金貸付金を借り入れる理由について

平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・医療費の増加要因と抑制の取り組みについて

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・赤坂遺跡の国史跡指定に関する官報告示について

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・保険料の軽減対象者数と被保険者全体に占める割合について

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

企業会計

病院事業

・収入増加及び歳出削減のための新たな取り組みについて

水道事業

・市内にある水源の状況と、今後の水源利用の考え方について

財政健全化対策特別委員会

財政健全化対策特別委員会は、平成十九年六月に設置され、三浦市の財政健全化に向けた諸課題について審査を行ってまいりました。

平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑は特にありません)
◎平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑は特にありません)
◎平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・市道路線の認定、廃止及び変更について

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・市道路線廃止後の道路用地の取り扱いについて

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

・二十三年度に予定する組織再編の効果について

水道事業

・市内にある水源の状況と、今後の水源利用の考え方について

質疑終了後、一般会計予算に対し、小林直樹委員より反対討論が、

財政健全化対策特別委員会

財政健全化対策特別委員会は、平成十九年六月に設置され、三浦市の財政健全化に向けた諸課題について審査を行ってまいりました。

平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑は特にありません)
◎平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑は特にありません)
◎平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・市道路線の認定、廃止及び変更について

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・市道路線廃止後の道路用地の取り扱いについて

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

出口眞琴委員より賛成討論が行われました。また、国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・第三セクター等改革推進債償還事業の各特別会計予算及び病院事業会計予算に対し、小林直樹委員より反対討論が行われました。

財政健全化対策特別委員会

財政健全化対策特別委員会は、平成十九年六月に設置され、三浦市の財政健全化に向けた諸課題について審査を行ってまいりました。

質疑終了後、一般会計予算に対し、小林直樹委員より反対討論が、

平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑は特にありません)
◎平成二十二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑は特にありません)
◎平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・市道路線の認定、廃止及び変更について

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)
・市道路線廃止後の道路用地の取り扱いについて

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

平成二十二年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)

(委員からの意見)
・今後制度の安定した運営について、国

○有効な財政健全化策を	(フォーラムみうら 石原正宣) ……	3面
○地域での介護予防	(日本共産党 立本眞須美) ……	3面
○二町谷への企業誘致	(公明党 藤田 昇) ……	4面
○部活動の充実を	(民主党 高橋洋文) ……	4面
○Yesからのスタート	(みうら市政会 出口眞琴) ……	4面
○ごみ処理広域化計画	(フォーラムみうら 宮崎敏一) ……	5面
○高齢者の生活しやすい町に	(日本共産党 石橋むつみ) ……	5面
○財政健全化に向けて	(公明党 佐瀬喜代志) ……	5面
○三浦ならではの循環型農業	(みうら市政会 草間道治) ……	6面
○情報提供の拡充	(フォーラムみうら 北川年一) ……	6面
○一日も早い土地の売却を	(日本共産党 小林直樹) ……	6面
○子育て施策の一元化	(みうら市政会 神田眞弓) ……	7面
○市民の声を生かした総合計画に	(フォーラムみうら 松原敬司) ……	7面
○民の力によるまちおこし	(みうら市政会 土田成明) ……	7面
○人口減少への対応策は	(フォーラムみうら 四宮洋二) ……	8面



有効な財政健全化策を

緊急緊縮財政宣言、特別支援教育

フォーラムみうら 石原 正宣

質問 三浦市財政を健全化の方向に向けるには、向こう五年が正念場だと考える。

この間、いかに有効な財源確保策が打てるかに市の命運がかかっており、その最たるものが二町谷の土地の売却、貸し付けである。現在の条件、環境下で売却、貸し付けをするには非常に大きな行政府が必要になると思うが、市長の考えは。

市長 土地の売却に当たっては、他地域との企業誘致競争の中で、アクセス等の面で劣後し、企業の進出を阻むという経験もしている。接触する企業等には、必要であれば市長として直接先方と話をする機会も設けている。行政府を傾注すべきということに関しては同じ考えであり、全庁を挙げて取り組みたい。

質問 平成二十三年度の予算編成には大変な苦労があったと認識するが、市長の施政方針では、昨年度打ち出した緊急緊縮財政宣言に触れられていなかった。宣言を取り下げられる財政状況になったとは思えないが、市長の見解は。

市長 財政指標の見通しでは、実質赤字比率のピークは平成四十年の景気低迷や人口減少の状況から、数年で財政状況が好転すると思う考えは持っていない。三浦市の財政健全化への道のりは長く、緊急緊縮財政宣言をして

いる状況は解消されていないと認識している。発達障害児への支援

質問 普通級に在籍する発達障害の傾向のある児童・生徒への支援は、他の児童・生徒の支援の充実や、担任への支援にもつながる。支援のためには、教員の力量の向上とともに、介助員の充実が不可欠である。支援体制の現状と今後の対応をお聞きしたい。

教育長 発達障害の傾向のある児童・生徒には、特別支援学級との連携や、特別支援教育非常勤講師の配置等に

地域での介護予防

災害時要援護者、学校図書

日本共産党 立本 眞須美

質問 高齢者が元気で過ごせるように、介護予防施策を充実することが大事である。高齢者が家に引きこもらないように、趣味の作品づくりや展示などで、人が集まり交流

できる場を意識的につくってはどうか。また、そういった場では、健康づくり課が健康指導をしたり、協働推進課が振り込め詐欺の注意を呼びかけたといった展開も可能であり、ぜひ実現をいただきたい。

市長 高齢者の持つ趣味や特技を発揮できる場の提供や、活動を応援する機会を設けることは、重要な介護予防支援だと考える。また、人が集う機会をつくることは、介護予防に関する知識の普及や、必要な情報提供の機会にもなるため、今後、取り組みの手法

などを検討したい。

質問 市内の高齢化が進んでいることから、災害時の支援体制の整備は重要である。今後、市が作成した災害時要援護者名簿を支援組織の自治会などに渡し、支援体制づくりに取りかかるとも、支援組織には名簿とともにマニュアルを渡すなど、どのような内容なのか、お聞きしたい。

市長 支援組織には、災害時要援護者支援体制づくりの手引きを渡し、地域ごとの支援体制づくりをお願いする。その内容としては、

質問 文部科学省の新しい学校図書整備五カ年計画は来年度が最終年となるが、本市には、まだ図書の整備率が低い小中学校がある。市長の施政方針には、児童・生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、学校図書館を充実させるとあるが、なぜ来年度予算で措置されていないのか。

市長 当初予算は、他

の教育関係予算も含めた全体の中で調整した結果であり、ご理解をいただきたい。

教育環境の自治体間格差が少しでも解消できるように、今後とも予算措置をしたい。



活動の機会づくりを



広大な二町谷埋立地

二町谷への企業誘致

子宮頸がんの予防、小学校での外国語活動

公明党 藤田 昇

質問 二町谷の埋立地は、数十年後の本市にとって、極めて重要な財産になると考える。

しかし、二町谷への企業誘致は、地方債返済のためという点が強調されがちである。

土地の売却を優先する余り、全体の利活用を著しく損なうような分譲は避けるべきではないか。

市長 基本姿勢としては、二町谷の埋立地は

分譲したいと考えているが、だからといって、あらゆる活用に応じるということではない。

あくまでも、本市や県、ひいては国の経済活動に貢献できるような活用が望ましいと考えている。

ワクチン接種

質問 三浦市では、子宮頸がん予防ワクチン接種事業が、平成二十三年度からの新規事業

として実施される。
① 中学一年生から高校一年生までの女子を対象に実施されるが、その周知方法は、

② ワクチン接種が可能な医療機関は市内に幾つあるのか。

保健福祉部長

① 市内中学校を通じて、生徒や保護者に対するチラシを配布するほか、広報紙やホームページによる広報、スーパードのポスターの掲示などを行い、周知徹底をしたい。

② 現在、市内の十施設で接種が可能であり、さらに三施設が検討をしていると聞いている。今後も、医師会を通

じ、医療機関に対して、ワクチン接種事業への参加、協力を呼びかけていきたい。

学校への支援

質問 四月から小学五年生での外国語活動が必修となる。

全国の小学校教諭を対象とした調査では、外国語活動を進める上での準備時間等が不足していることや、指導を負担に感じる教員がいる現状が明らかとなった。

外国語活動の実施に向け、どのような支援を行うのか。

教育長 外国語指導助手の派遣による指導の

充実や、研修等による教員の養成などを行い、学校の指導体制を整えていきたい。

また、外国語活動の参考となる指導の手引きを作成し、教員の負担感を軽減したい。



外国語指導助手による授業

部活動の充実を

市内中学校の現状、外部指導者

民主党 高橋 洋文

質問 昨今、日本の子供たちの基礎体力、運動能力の低下が指摘されており、そういう意味では、中学校時代における部活動の役割は非常に大きいと思う。現在、生徒・教員数

の減少などから、各中学校の部活動の種類が少なくなっている。部活動の選択肢の狭さから、学区外への通学や転校をするような生徒もあり、保護者の経済的な面での偏りや不公平感、教員への負担が生じている。

教育長

部活動は、生徒が豊かな学校生活を送る上で大変大きな意義を持っていると認識している。

しかし、各中学校の部活動の数は、学校の小規模化に伴い減らざるを得ない状況にあり、

部活動への支援

質問 当市では、部活動に対して、保護者や地域ボランティアでの外部指導者の導入が行われている。

市内では、自分の学校でこういう競技をしたいという子供の声、



部活動の様子

また、子供たちに教えるたい、教えてもよいといった声が聞かれる。こういった声にこたえ、学校現場の負担を軽減するためにも、今後さらに外部指導者の導入を推進すべきだと考えるが、教育委員会の考えを伺いたい。

また、子供たちに教えるたい、教えてもよいといった声が聞かれる。こういった声にこたえ、学校現場の負担を軽減するためにも、今後さらに外部指導者の導入を推進すべきだと考えるが、教育委員会の考えを伺いたい。

この協定を積極的に活用し、外部の専門的知識・技能を持った方と連携して、部活動の充実を図りたい。



潮風スポーツ公園

Yesからのスタート

障害者への支援、スポーツ施設の運営協議会

みうら市政会 出口 眞琴

継続した支援を

いきたい。

質問 市長を初め、福祉関係者の念願であった知的障害者通所施設が四月に開所する。厳しい経済状況下での施設開所は、関係者の大変な努力によるものであり、大いに評価したい。

障害者の自立や社会参加への支援は、これからの必要であり、積極的に取り組んでいただきたい。

市長 知的障害者通所施設の開所に当たっては、地域の理解と協力が必要であり、今後也十分な対応を行ってきたい。

通所施設だけでは障害者施策は万全ではないと考えている。さまざまな方の話を伺いながら、今後も対応して

運営協議会のあり方
質問 総合体育館と潮風スポーツ公園には、利用団体等により組織された運営協議会があるが、指定管理者制度導入後は全く開催されていない。

運営協議会は、利用者の意見を聞き、利便性の向上等を協議する場として大変重要である。今後の運営協議会のあり方について、お聞きしたい。

教育長 平成二十二年から、指定管理者制度の導入により、両施設の一括的管理が始まった。

施設の一括的管理に即した運営協議会を新たに設立するため、現在、準備を進めている。

ごみ処理広域化計画

ごみの減量化・資源化、地球温暖化対策

フォーラムみうら 宮崎 敏一

質問 三浦市と横須賀市によるごみ処理広域化計画において、本市には最終処分場の建設が予定されている。

①平成二十二年度から二カ年で、基本設計等の業務委託を行っているが、進捗状況は。

②最終処分場は、どのような構造の施設を予定しているのか。

③最終処分場での、ごみの埋立期間は、何年を予定しているのか。

環境部長 ①二十二年度末における業務委託の進捗率は約三二%である。地質調査はほぼ終了しており、その他の基本設計等も一部が終了をしている。

②ごみの飛散、悪臭等、公害の防止に重点を置いた、屋根つき被覆型の処分場を計画している。

③埋立ては、二工期に分けて計画しており、一工期の埋立期間は、おおむね十五年から十七年を予定している。

減量化の取り組み

質問 最終処分場は、ごみの埋立量によって、早期に満杯となる



将来のためにごみの減量化を

球温暖化対策についての実行計画を策定し、市庁舎等の施設を対象に、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいるが、その実績は。

市長 可能性があり、その際には、新たな処分場の建設が必要となる。さらなるごみの減量化・資源化が求められるが、本市での取り組み状況は。

市長 ごみの減量化・資源化のため、市民に対して説明会を開催し、協力をお願いしている。二十三年度は、暮らしの中でごみの減量化を意識した取り組みができるよう、検討をしたい。

環境部長 ①平成二十一年度における三浦市役所の温室効果ガスの排出量は、基準年度である十七年度に比べて約一三%の減となっている。

温暖化対策の状況 ①本市では、地

高齢者の生活しやすい町に

駅前広場の整備と機能の充実

日本共産党 石橋 むつみ

いったことを防げると思う。

本市の高齢者が通院または外出する場合に利用できるサービス、案内の仕方はどのようなになっているのか。

保健福祉部長 移動を支援するサービスとしては、移送サービス、介護タクシー、福祉有償運送などがある。

市の事業である移送サービスについては、高齢介護課作成の情報誌「手と手をつなごう」や市のホームページ、「三浦市民」等に掲載して周知している。介護タクシーや福祉有償運送についても、ホームページ等で周知に努

めていきたい。

放置自転車の解消

質問 昨年十二月に三浦海岸駅線路下に自転車等駐車が開設された。駅前広場の放置自転車やバイク、不法ごみも整理され、安全に歩けるようになって本

当によかったと思う。

放置自転車がなくなくなった駅前広場のどのよう

に維持していくのか、今後の対策をお聞きたい。

都市部長 放置自転車等により損なわれた景観が、京浜急行電鉄との協働作業によって取り戻されたと言える。今後、駅前広場に自



三浦海岸駅前

転車等の放置が繰り返されないように、環境パトロール隊による見回りを行い、三浦市の

玄関口としてふさわしい環境を保持したい。

駅前広場

質問 駅や駅前広場は、交流の結節点としての

機能を持ち、三浦海岸駅、三崎口駅ともに本市の陸の玄関口、顔のようなものだと言える。駅前広場の環境整備や利便性の向上、観光・商業機能、市民交流機能などをさらに充実させていく必要があると思うが、市長の見解を

伺いたい。

市長 今後も京浜急行電鉄や地域の皆様と連携を図り、駅前広場の環境整備や、周辺観光地への快適な歩行空間の確保、さらには駅周辺における商業機能の集積など、具体化に向けた検討を進めたい。

財政健全化に向けて

防災・減災対策、自治会活動の課題

公明党 佐瀬 喜代志

質問 市長は平成二十三年度予算について、昨年の土地開発公社の解散に伴う財政負担を見据え、あらゆる角度から見直した予算であると述べている。

三浦市の財政健全化に向け、市民が不安感を抱くことなく、希望を与えられるような市長のメッセージをお聞きたい。

市長 二十三年度予算は、市民の皆様が極力

負担をかけないように編成し、財政健全化への第一歩を踏み出したと自負している。

しかし、すべての課題が解決したわけではなく、今後もさらなる財政健全化の取り組みが必要であることは変わらない。

さまざまな課題の克服を目指して、私みずから陣頭指揮に立ち、情熱を持って粘り強く取り組みたい。

防災意識の啓発

質問 地震を初めとした災害は、いつ起こるか分からないため、日ごろの心構えが大事だと考える。

市民に対する防災意識の啓発について、どのように取り組んでいるのか。

市長 毎年実施している総合防災訓練や防災講演会を引き続き実施し、さらなる内容の充実に努めていきたい。

また、各地域で実施されている防災訓練も、防災意識の高揚を図る貴重なツールと考えており、積極的な活用と支援を行いたい。

現状の認識は

質問 三浦市には五十六の区があり、それぞれで自治会を組織している。

自治会は、市と地域のパイプ役となり、市民協働のかなめとしての活動をしているが、その活動に対する意欲は、地域によって温度差があると感じる。

高齢者社会を迎え、見守り活動など、地域の役割がますます重要となる。市は、自治会活動の現状をどう認識しているのか。

市長 自治会には、それぞれ特徴や課題があるが、その中でも、自治会活動の担い手の確

保が困難な区があることは、大きな課題と認識している。自治会活動の課題を共有し、解決するためには、区長会を通じて意見交換を進めることが重要と考えている。



平成22年度に実施された総合防災訓練

三浦ならではの循環型農業

市立病院、企業誘致策の検討

みうら市政会 草間 道治

※は欄外に説明を記載

質問 市長の施政方針では、農業振興のための事業として新たに野菜残さ処理試験・研究を進めるとある。

野菜残さ処理で一番苦勞するのが大根であり、細かく砕く農機具などがあればよいが、高額なため、一軒の農家で持つことが難しい。

環境保全型農業の推進には、野菜残さの処理資金や研究が重要であり、この事業には大

いに期待している。

市長 野菜の残さ処理をする際は、残さを破碎する作業が不可欠であり、農家がそういった機器を調達するための支援が、市に要望されている。

今すぐ支援をするという回答はできないが、今後、農協との話し合いを進めていきたい。

組織の強化 市立病院では、

質問 市立病院では、

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

施政方針では、さらに経営改革に集中して取り組むために組織改編を実施するとあるが、どのような改編を行うのか。

総病院長 全部適用二年目を迎えるに当たり、さらなる経営改善を進め、病院経営の安定化を図ることを目的として、事務局も医療セクションと同様に、よりチームとして機能するよう体制を充実・強化

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

三浦市立病院改革プランに沿って経営改善を進めており、地方公営企業法の全部適用を行い、病院職員が一丸となって、公設公営の基幹病院を目指している。

情報提供の拡充

介護者支援、市道 310-3

フォーラムみうら 北川 年一

質問 三浦市の情報を入手しようとする場合、市のホームページが多く利用されている。しかし現在、市のホームページから個々の観光やグルメ、あるいは市内特有の問題とし

て介護施設といった情報の広がりが無い。今後、ホームページからのリンクを広げ、個々の情報をつないでいく工夫をしていただきたい。

市長 現在のホームページの内容では、アクセスした方々が望むすべての情報を掲載することは難しく、インターネット上に数多くある三浦市関連の情報とリンクすることは有用な要素であると思う。今後、本市のホームページの内容や表現方法等を研究し、利用者の立場に立ったものとなるように努めたい。

市長 高齢化が進むにつれ、介護している家族のご負担は増加しており、これに対する支援は重要な課題である

と考えている。



開通した市道310-3号線

高齢者と家族への支援 **質問** 市内の集合住宅には、六十歳以上の居住者が七〇％に達しているところもあり、今後、老老介護やその他マスメディアに載るような事件が起きないとも限らない状況にある。介護をしている立場の人や、既に介護を終えた方が中心となり、同じ立場で、同じ苦勞を分かち合えるような集まりの場が必要だと思いが、市として支援をする考えは。

市長 高齢化が進むにつれ、介護している家族のご負担は増加しており、これに対する支援は重要な課題である

と考えている。しかし、介護者の中には、他人に家庭内のことを話すことへの抵抗感や、個人情報漏れることへの心配があることも伺っており、介護者グループの立ち上げや支援については慎重に対応していきたい。

市道の開通 **質問** 延伸された市道三百十一-三号線は、三月十六日に開通となり、生活道路、防災道路として大変期待している。

市長 近隣の皆様との協議に基づいて、歩行者の安全対策等を講じてきているが、今後、関係する学校等お知らせを行う中で、通行する児童への注意等もお願いする予定である。

市長 二町谷地区の埋立ての経緯からしても、地元水産関連業界の進出は達成すべき課題であると考えている。

市内の水産関連団体には、一月に市長として直接訪問して、二町谷地区進出の願いをしておられ、現在は進出に向けての課題整理を中心に検討を開始していただいている。



三浦市立病院

な強力な進出誘導策の検討をするには、選

二町谷埋立地は貴重な財産であり、費用対効果を検証したい。

一日も早い土地の売却を

住宅リフォーム助成、小網代の森

日本共産党 小林 直樹

三浦市での実施を **質問** 住宅リフォーム助成制度は、市内の業者を利用して住宅リフォーム工事を行った場合、工事費の一部を市が助成するもので、市内への大きな経済波及効果と、市民の住環境の向上が期待できる。

全国的に取り組まれ、成果も上がっている施策であり、三浦市でも緊急経済対策として実施してはどうか。

市長 住宅リフォーム助成は実施したい事業であったが、財源的に非常に厳しいため、踏み込むことができなかった。

経済効果を生んでいくことも認識しており、また、地元の業界の皆さんも切望していることなので、近隣での効果

整備費用や、環境に負担をかけない方式などを県と協議をしながら取り組みたい。

果なども含めて検討をしていきたい。

自然環境を守る **質問** 小網代の森は、神奈川県との連携により近郊緑地特別保全区域として保全・整備が進められる。

散策路が整備されると、森に入る人の数が多くなるため、トイレの整備が必要になる。県にトイレの整備について要請することが必要ではないか。

市長 現状でも、やらなところでも用を足されるなど、非常に問題意識を持つているので、トイレの整備は絶対必要だと思っている。



小網代の森

※地方公営企業法の全部適用……地方公営企業法の全規定を適用すること。開設者(市長)にかわり、事業管理者に組織、人事、給与などの権限が与えられる

子育て施策の一元化

三崎地区中学校の適正配置、みうら夜市

みうら市政会 神田 眞弓

質問 昨年三月にまとめられた、子育て施策の一元化方策検討プロジェクトチーム報告書では、速やかに子育て施策の一元化を達成すべきとの考えが述べられている。

また、報告書では、一元化によるメリットが挙げられる一方で、施設面での課題も指摘されている。

市長は以前、福祉と教育の連携についての質問に対し、前向きに検討をしたいと述べていたが、どのように取り組んでいくのか。

市長 こども部の設置といった理想的な一元化をするには、解消すべき問題もあり、早期の実現は困難である。速やかに連携を図る



三崎中学校(上)、上原中学校(下)

今後、教育委員会で実施計画を策定する際には、パブリックコメントを初め、地域の意見をいただく予定である。いずれにしても、子供の環境に関するものであり、一つ一つ丁寧に進めていきたい。

質問 市民協働の精神をまちおこしに生かしたイベントである、みうら夜市がことしも開催される。

市長 みうら夜市は、地域の皆様から協力をいただき盛大に開催されている、市民協働型のイベントである。二十四年度以降も、ぜひ継続したいと考えているが、財源も含めて、多くの意見を聞きながら検討したい。

質問 三崎地区中学校適正配置協議会において、三崎中学校と上原中学校を統合する方向で検討することが、現時点での最善の選択だという結論に至った。

中学校の統合問題は、本市が始まって以来の大変重要でナイーブな問題であり、子供たちにとってベストな統合であってほしい。

教育長 協議会で決まったものが即決ということではないので、

市民の声を生かした総合計画に

税金を上げる都市づくり

フォーラムみうら 松原 敬司

質問 平成二十三年度から次期総合計画の策定作業に入るが、市民等からの意見聴取の仕方について伺いたい。

①さまざま手段を用いて全市民から意見を聴取する取り組みを

すべきであり、また、従来の方法では出てこないような意見を聴取するために、一言を待つ方に直接ヒアリングをしてはどうか。

②市職員の中にも大胆な発想をする職員がいると思うが、職員からの提案を受けることについて、市の考えは。

市長 ①計画策定時には、ワークショップの充実に向けて、幅広くご参加いただけるような工夫をしたい。また、個別に意見を聴取できるように環境づくりもしていきたい。

②若手職員など幅広く職員の意見を聞く場を設け、多くの提案が

なされるよう努めたい。

質問 市の経営にまつて税金増を図るということは非常に重要である。税金を上げるための基本構造の問題について、提案をしたい。

①中・高額納税者が三浦市に住む土地利用をすることで税金増を図るということを基本に論議をしてはどうか。

三浦市を住宅都市へ転換するためには、三崎口駅あるいは三浦海岸駅から東京大手町に一時間で通勤するという条件が必要である。

②農業・漁業・観光の三本柱のうち、最初

に基礎構造に手をつけることが可能な産業は農業だと思う。

この点では、有機農法の研究について提案をしているが、そこに踏み込んでいく市の基本姿勢を求めたい。

市長 ①富裕層の住む住宅都市の実現は、市

が進めている施策と基本的には一致しており、住んでよかったと思われ町を目指して、シティ・セールズ活動に注力している。

大手町まで一時間と三浦に住んでもらう大きなきっかけにもなる

②農作物にブランド力をつけ、優位性を持つて販売することは大変重要なことであると認識している。

今後も、土づくりを農業の基本として、三浦野菜の価値を上げるための農政を進めたい。

いる中では、職員一人一人が貴重な人的財産であり、その育成は大変重要なことと考えている。

今後、積極的に職員の育成に努めたい。



土づくりが農業の基本

民の力によるまちおこし

シティ・セールズ、市職員の人材育成

みうら市政会 土田 成明

質問 三浦市では、口ハスな生活を送るためのさまざまな施策を実施している。

実際に口ハスな生活を体験してみたが、心身ともに健康な生活を送るためには、趣味が必要だと感じた。

多種多様なカルチャークラブを民の力によりつくることで、人と人が交流する場所ができ、まちおこしにもつながると考えるが、

いかがか。

市長 民の力による新たな活動が展開されることは、大変歓迎すべきことである。

三崎まぐろラーメンや三浦海岸の河津桜などのように、まちおこしは、民の力によって行われることが成功の秘訣だと考える。

今後も、民の力によるまちおこしに、行政がいかにサポートできるかを考えていきたい。

質問 シティ・セールズの新たな手法として、インバウンドに関する取り組みが挙げられる。インバウンドは、日本の人口が減少する中で、外国人観光客を呼び込むことの重要性から、官民一体となって推進している国策でも

ある。

県や鉄道事業者等とのタイアップをしているので、本市のさまざまな観光要素を取り入れながら、取り組みを拡大していきたい。

若手職員の育成

質問 市内で「市職員を減らすべき」という市民の声を聞く。

職員の削減は、まず、きちんとした人材育成をしてからでなければ、三浦市から人材がいなくなってしまうということが起こり得る。

次の時代を担う人材の育成について、市長の考えは。

市長 職員を削減して

いる。今後、積極的に職員の育成に努めたい。



三崎まぐろラーメン

人口減少への対応策は

土地の有効活用、雇用の拡大

フォーラムみうら 四宮 洋二

質問 人口政策は、市の財政運営の核ともなる重要政策である。

業の中では、政策人口についても見直しをする考えである。

二月十四日に発表された平成二十二年国勢調査結果速報では、三浦市の人口は四万八千三百四十八人と、平成十七年の調査から千五百十三人減少しており、県内では二番目に人口減少数が多い市町村となっている。

質問 本市の人口減少の要因として、市の経済を支えてきた漁港の低迷があることは否定できない。特に下町地区の人口回復は、漁港経済の立て直しと、新しい経済の定着にかかっていると思う。

本市の総合計画では、人口計画として平成三十年の人口を五万二千人と定めているが、この際、人口計画を見直すべきではないか。

これまで先人たちが築き上げてきた本市の基幹産業の道のりや、歴史、文化を大事にし

ながら、経済の循環を

考えていただきたい。一日も早く人口流出に歯どめをかけるために、雇用の拡大など、市長の積極的な人口増加策をお願いしたい。

市長 現在、シティ・セールズ活動に力を入れていますが、これは経済の活性化や交流人口の増加とともに、定住人口の増加が大きな目的となっている。そして、シティ・セールズの基本となる資源は、本市の基幹産業である漁業・農業であると認識している。

本市の非常に厳しい状況は、すべての方の共通認識であると思うが、この難局を乗り越え、活力ある三浦市を目指すために、議会、市民、市役所が一体となって取り組むたい。

現在の総合計画では、市内の大型開発などの動きも踏まえ、総合的な政策の展開により目指すべき政策人口という位置づけで、総人口五万二千人を目標とした。

今は開発の動きなど周辺環境も変わっており、二十三年度からの次期総合計画の策定作

三浦市議会だより



三崎下町の家並み

本会議での議案等の審議結果

番号	件名	議決状況
議案第1号	三浦市暴力団排除条例	原案可決 全会一致
議案第2号	三浦市第三セクター等改革推進債償還事業財政調整基金条例	〃 賛成多数
議案第3号	三浦市職員定数条例の一部を改正する条例	〃 全会一致
議案第4号	三浦市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	〃 賛成多数
議案第5号	三浦市特別会計設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第6号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	〃 全会一致
議案第7号	三浦市手数料条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第8号	三浦市都市公園条例の一部を改正する条例	〃 〃
議案第9号	平成22年度三浦市一般会計補正予算(第7号)	〃 賛成多数
議案第10号	平成22年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃 全会一致
議案第11号	平成22年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃 賛成多数
議案第12号	平成22年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃 全会一致
議案第13号	平成22年度三浦市病院事業会計補正予算(第2号)	〃 〃
議案第14号	平成23年度三浦市一般会計予算	〃 賛成多数
議案第15号	平成23年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	〃 〃
議案第16号	平成23年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃 〃
議案第17号	平成23年度三浦市介護保険事業特別会計予算	〃 全会一致
議案第18号	平成23年度三浦市市場事業特別会計予算	〃 〃
議案第19号	平成23年度三浦市公共下水道事業特別会計予算	〃 〃
議案第20号	平成23年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計予算	〃 賛成多数
議案第21号	平成23年度三浦市病院事業会計予算	〃 〃
議案第22号	平成23年度三浦市水道事業会計予算	〃 全会一致
議案第23号	財産の無償譲渡について	〃 〃
議案第24号	権利の放棄について	〃 賛成多数
議案第25号	市道路線の認定、廃止及び変更について	〃 全会一致
議員提出議案第1号	三浦市議会委員会条例の一部を改正する条例	〃 〃
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	異議なき旨答申 〃
報告第1号	専決処分の報告について	報告 〃
報告第2号	専決処分の報告について	〃 〃

本会議における討論

議案第十四号 平成二十三年度三浦市一般会計予算

反対討論

日本共産党 小林 直樹

昨年土地開発公社解散に伴い、新たに百八億円の借金が増加した。これは、さまざまな土地先行取得と無謀な二町谷埋立事業が原因で、事業を進めた責任は重大である。

今後、二町谷埋立地の売却、企業誘致が重要になるが、埋立地内の汚水処理施設の使用料は計上されず、本気で売却を進めているのか疑問である。

二十三年度は、三浦市水泳プールが休場になるが、これは市民の健康維持や体力向上など、スポーツ振興に逆行するものである。

これから、ますます厳しい財政運営の時代に突入する。無駄をなくし、公正で民主的な市民本位の財政運営を求めて、反対する。

賛成討論

みうら市政会 出口 眞琴

厳しい財政状況の中で編成された平成二十三年一般会計予算は、将来の財政健全化に向けた第一歩として、事業の縮減・休止・廃止などを行い、市民に極力負担をかけないものとなった。

歳入においては、市税等の徴収率向上を目指し積極的に取り組むなど、今後期待するところである。また、歳出では人件費について、国の支給額との均衡を考慮しつつ本市の財政状況に見合うものに見直しをしている。

市側においては、予算審査特別委員会での審議内容を十二分に精査し、職員が丸となって今後の予算執行にまい進することを期待して、賛成する。

議会を傍聴しませんか

改選後初の議会となる臨時会は、5月の中旬ごろに招集され、正副議長や各常任委員会委員の選出などを行います。

第2回定例会(6月)の日程は、臨時会開催後に決まりますので、三浦市議会だより第103号(6月1日発行予定)や三浦市議会ホームページからご確認ください。

そのほか市議会に関することは、議会事務局までお問い合わせください。

電話 046(882)1111 内線462・463

委員定数条例を改正

改選後に議員定数が十五人となることに伴い、三浦市議会委員会条例に規定する、各常任委員会及び議会運営委員会の委員定数を改める等の改正を行いました。

人権擁護委員の推薦

市長より、次の方々を法務大臣に推薦することについて意見を求める諮問が出され、異議なき旨を答申しました。

- 中野 美知子 氏(海外町)
- 橋本 則子 氏(東岡町)
- 長谷川 正代 氏(南下浦町上宮田)
- 石渡 千穂子 氏(初声町和田)
- 菊池 恵 氏(南下浦町菊名)
- 吉水 教雄 氏(初声町下宮田)
- 植坂 泰雄 氏(初声町下宮田)